

おおなん協育プロジェクト ～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～

《背景》

- ◎中国山地の山間にある約1万人の邑南町
- ◎高齢化率43%を超え、2040年消滅可能性としに名を連ねている
- ◎地域の未来を担う人材の育成が本校に求められている

《目的》

“ふるさとを思い 地域の未来をつくる人を育成する”

ふるさとを思い地域の未来をつくる人を育むためのカリキュラムづくり
= **協育カリキュラムの整備**

ふるさとを思い地域の未来をつくる人を育むための土壌づくり
= **コンソーシアムの組織化**

《実施体制》

“矢上高校と地域の未来をつくる会”

令和3年度3月に設立
邑南町など14団体からなるコンソーシアムを形成

学習支援部会

協育パートナー

地域の大人たち12名
にで生徒の探究活動
の伴走を依頼。
役場等と調整し決定。

魅力化推進センター

校内で本事業を担当。
主幹教諭／邑南町役
場担当者／魅力化担
当教員／コーディネ
ーターからなる。

運営指導委員会

本事業運営への
指導助言

カリキュラム 開発専門家

カリキュラムへの
指導助言、講評

《令和3年度の目標》

【育みたい人材像】

“ふるさとを思い 地域の未来をつくる人”

邑南町で就職や起業し、地域の発展に貢献する人や邑南町外にいてもふるさとへの愛着を忘れず、関係人口として地域を支える人。そのどちらの人材も、邑南町を持続可能な町として、未来を作っていく人である。このような人を私たちは育みたい。

【資質・能力】

◎目標達成や課題解決の基盤となる学力や技能

◎地域の魅力や課題を発見し、目標達成や課題解決方法を探究する力

◎主体的かつ他者と協働する力

【事業の3つの柱】

①総合的な探究の時間の改善

②教科横断カリキュラムの拡大

③学校設定教科「起業探究」の実施

《取り組み状況》

総合的な探究の時間の改善

- [1年生] 学際科目の実施、インタビュー おおなん暮らしナビ作成
- [2年生] 地域探究活動、研究発表会実施 60名の生徒が12チームに分かれ、12人の協育パートナーと共に、地域課題解決・協働活動を実施。
- [3年生] 若手UIターン者との対話

教科横断カリキュラムの拡大

コンテンツベースに、下記5つのプログラムを作成、実施。

- ・文化的衝突 [英語*家庭(福祉)]
- ・パラリンピック [体育*家庭(福祉)]
- ・食糧危機 [保健*家庭*公民]
- ・労働と福祉 [家庭*公民]
- ・カーボンニュートラル [家庭*公民]

学校設定教科「起業探究」の実施

ビジネスプランコンテストへ挑戦、耕作放棄地を使ったサツマイモの植え付けから収穫、試作まで実施、産業技術科の矢高ショップでの販売実施

《成果と課題》

高校魅力化
評価システム

- ・地域の課題について考える生徒：81%
- ・将来自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う生徒：47%
- ・地域社会などでボランティア活動に参加した生徒：50%

全ての項目で目標値を上回ることができた。



「協育パートナー」制度によって、校外での生徒の活動支援ができたことが目標達成の大きな要因と考えられる。

	成果	課題
総合的な探究の時間の改善	・探究サイクルの体系化 ・協育パートナーの制度化	・校内での体制整備 ・教材整備 (ICT化)
教科横断カリキュラムの拡大	・コンテンツ・ベースの教科横断カリキュラムの教材整備	・コンピテンシー・ベースの教科横断カリキュラムへの転換
学校設定教科「起業探究」の実施	・6次産業化の体験 ・他学科(産業技術科)との連携	・起業家育成プログラム導入 ・地域と協働した取り組みの充実
その他	・協育パートナーの活用	・個別最適な学びへの転換 ・自走体制の構築

おおなん協育プロジェクト ～邑南町総がかり！協働で育む“協育”カリキュラムの開発～

本校のある邑南町は、中国山地の山間にある約1万人の町である。高齢化率は43%を超え、2040年消滅可能性都市に挙げられている。本校は邑南町唯一の高校として、これまでも地域を支える多くの人材を育成してきたが、町の人口減や高齢化が進む中で、地域を支えるだけでなく、地域の未来を担う人材の育成がさらに求められている。そこで、邑南町民・行政、本校産業技術科・大学等専門機関と協働し、総合的な探究の時間の再構築、教科横断型プログラムや学校設定教科の設置など、地域と生徒が協働で課題解決できるよう普通科のカリキュラムを整備し、地域の未来を担う人材を輩出することを本構想の目的とする。

コンソーシアムの構成等研究開発の実施体制を記入

令和3年度の目標

取組状況

成果と課題

【記入要領】

- ※本様式にある項目については、記載するようにしてください。適宜図表を活用する等、わかりやすい資料となるよう工夫してください。
- ※管理機関名、高等学校名、事業類型名、研究開発構想名以外については、レイアウトを指定するものではありませんが、**A4版横置き1枚**で作成してください。
- ※本資料は文部科学省HPにおいて公表します。